文部科学省・外務省後援

第 5 回 **PDA** 高校生パーラメンタリーディベート

世界交流大会 2020 報告書

一般社団法人　パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程：

2020 年 1 月 17 日（金）、18 日（土）、19 日（日）

会場：

ホテル日航関西空港　関西空港会議場

〒549-0001 大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地

TEL：(81)72-455-1111

主催：	一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（ＰＤＡ）
共催：	JST 未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン」プロジェクト
助成：	公益財団法人　日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人日本英語交流連盟、大阪府立大学

参加校とディベートチーム：14 チーム（日本 5 チーム、海外 9 チーム）

日本　渋谷教育学園渋谷高等学校
日本　さいたま市立浦和高等学校
日本　浅野高等学校
日本　神奈川県立柏陽高等学校
日本　福岡県立城南高等学校

韓国　Busanjangan High School
フィリピン　Timber City Academy
カンボジア 2
マレーシア 2
南アフリカ、ルーマニア（Swing 1）
トルコ、アルゼンチン（Swing 2）
アメリカ、ドイツ（Swing 3）
南アフリカ 2 （欠場）
フィリピン 1 （欠場）

大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。本大会では、パーラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。キーノートスピーチなど最新の講演も織り交ぜ、グローバルに活躍できる人財育成とすることを目的とします。ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選１： Parental leave should be made mandatory for both parents.
両親の育児休暇取得を義務付けるべきである。

予選２： A maximum number of terms for parliament members should be established.
議会議員は当選回数を制限されるべきである。

予選３： In primary and secondary school years, students should be grouped by competency and intelligence instead of age.
小中高校において、生徒は年齢ではなく学力で分けられるべきである。

準々決勝：The Olympic Games should be abolished.
オリンピックを廃止するべきである。

準決勝： The United States should remove all sanctions against Iran.
アメリカ合衆国は、イランに対する制裁を全て解除すべきである。

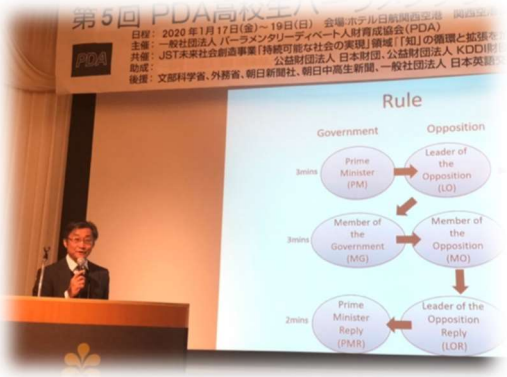
決勝： Government should obligate companies to allow their employees to telework.
政府は従業員がテレワークすることを認めるよう企業に義務づけるべきである。

キーノートスピーチ講師

公益財団法人 KDDI 財団　理事長　工学博士
鈴木正敏（すずき　まさとし）氏

1 日目（開会式、Mix Debates、カルチャーナイト）

海外 10 ヶ国から 9 チーム、日本からは 5 校が参加しました。第 5 回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会がいよいよ始まり、開会式では PDA 代表理事の中川智皓から挨拶と各国のチーム紹介、チーフジャッジの綾部からルールの確認がありました。



1 日目は Mix Debate です。各国からランダムに選ばれたグループ内で、初対面となるチームメイトと協力してディベートを行います。論題は「School uniforms should be abolished. 制服を廃止すべきである。」と「Child fashion models should be banned. 子どものファッションモデルを禁止すべきである。」の 2 つでした。普段一緒にディベートをしている友人とは離れ、初めて出会う異なるバックグラウンドを持つ人とのディベートは刺激的なものとなったようです。制服についての考えや、子どもが働くこと、親による子どもの選択に対する介入についての考え方は国によって異なり、準備時間やディベートを通して相互理解の進んだ時間となりました。

カルチャーナイト（文化紹介交流）では、各々が各国の伝統衣装を身にまといました。また、文化パフォーマンスが行われ、民族伝統ダンスや、国歌、食の魅力や、美しい景色、文化などをお互いに知る機会となりました。

Kanagawa Prefecture
神奈川県

12:50 Lunch

文部科学省・外務省後援
第5回 PDA高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会
PDA
KDDI

2 日目（予選、レクリエーション、準々決勝、バンケット）

2 日目、いよいよ予選が始まりました。初対面のチームメイトと楽しくディベートを行った 1 日目とは異なり、緊張感の漂う中、予選が開始されました。ディベート中は、POI（Point of Information）が活発に交わされ、白熱した議論が繰り広げられました。ディベートが終わりジャッジの先生からのフィードバックに移ると、次のラウンドに活かそうと真剣にアドバイスを聞く姿が見られました。

予選後はレクリエーションの時間です。参加者はプレゼントを持参し、ミニゲームを通してプレゼント交換を行いました。ディベートでのコミュニケーションとは異なり、日常生活などについて話しました。プレゼント開封の瞬間は特に盛り上がりを見せました。

休憩をはさみ、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）が行われ（結果は下記に示した通りです)、準々決勝が行われました。続いて、夜にはバンケットが行われ、昨日と同様に出身地紹介が行われました。国に関係無く会話や食事を楽しみ、バンケット後にも仲良く写真を撮る姿が見られました。

予選結果

1位 マレーシア 1
2位 フィリピン
3位 カンボジア 1
4位 マレーシア 2
5位 浅野高校
6位 渋谷教育学園渋谷高校
7位 神奈川県立柏陽高校
8位 カンボジア 2

3 日目（準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

3 日目は準決勝からです。前日の準々決勝を勝ち抜いたチームが熱い議論を繰り広げました。準決勝に進出できなかったチームも、メモを取りながら準決勝を見学し、試合後に意見交換をする様子も見られました。

決勝の前に、キーノートスピーカー、鈴木　正敏氏（公益財団法人 KDDI 財団　理事長 工学博士）のご登壇があり、通信の技術発展、未来の方向性についてお話いただきました。普段の授業ではなかなか知ることのできない最新の情報に参加者は真剣に聞き入っていました。

キーノートスピーチの後はいよいよ決勝（フィリピン　対　マレーシア 1）です。ジャッジにキーノートスピーカーの鈴木氏を迎えての審査となりました。張り詰めた緊張感の中、3 日間一緒にディベートを行い、勝ち上がったチームのスピーチを真剣な眼差しで見つめていました。そして優勝者はマレーシア 1 でした。

閉会式では表彰式と PDA 代表理事中川から「今後、遠くに離れていてもディベートができる環境が整う未来が来ると思います。これからもぜひ英語でのコミュニケーションを取り続けてください。」と総括がありました。

会場となったホテル日航関西空港も、世界交流大会にふさわしい素晴らしい環境を提供してくださいました。大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第５回　PDA 高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会結果

チーム賞

優勝： マレーシア 1
準優勝：フィリピン
準決勝出場チーム：浅野高校、渋谷教育学園渋谷高等学校
準々決勝出場チーム：カンボジア 1、カンボジア 2、神奈川県立柏陽高等学校、マレーシア 2

個人賞

ベストスピーカー賞

第 1 位 Lau Wee Ern（Malaysia 1）
第 2 位 HOR HENG SEREY ROTH（Cambodia 1）
第 3 位 Rohan Subagaran（Malaysia 1）
第 4 位 KAZUKI NISHIMOTO （Asano）
第 4 位 KANA KANZAKI（Shibushibu）
第 4 位 Leigh Clyde Ng Raper（Philippines）
第 7 位 Nurul Iman Binti Irwin（Malaysia 2）
第 8 位 Adonis Joshua A. Po（Philippines）
第 8 位 PEN PECH PANHCHAKPOR（Cambodia 1）
第 8 位 PEN PECH PANHA（Cambodia 1）

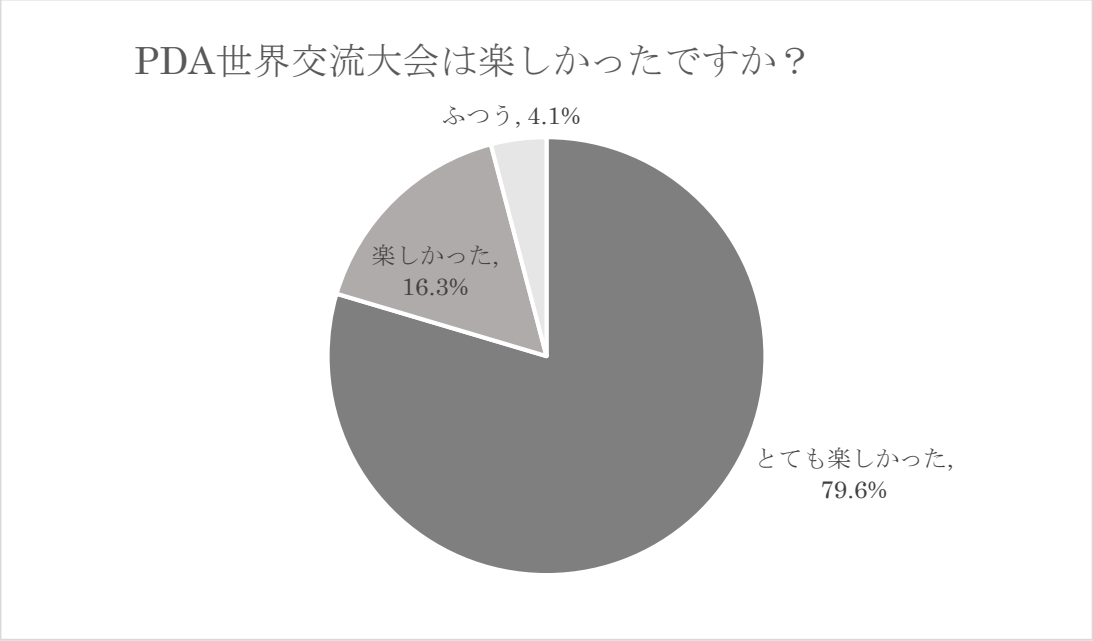
POI 賞

第 1 位 KAZUKI NISHIMOTO (Asano)
第 2 位 LIMA SPIELHOFEN （Germany）
第 2 位 AKSAY MEHMET（Turkey）

文化賞

フィリピン
カンボジア

第５回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会
アンケート結果と感想



アンケート結果

世界交流大会の感想（抜粋）

（生徒）

- 特に外国人の価値観やスタイルが違っていたので、本当に楽しかったです。日本ではこれを体験できないので、この大会に参加できてとてもうれしいです。 （日本）
- このような素晴らしい競争に参加できたとは信じられません。素晴らしい機会を与えてくれてありがとうございます。 （日本）
- すごく良い大会でした。もう一度この大会に参加できることを願っています。（韓国）
- すごく楽しかった！大学生になってからもまた参加したいです！（フィリピン）
- 世界中のディベーター達に必ず体験してほしいイベントです。（フィリピン）
- 最高のトーナメントでした。いつもとは違うディベートスタイルを経験できただけでなく、様々な国の文化を知るいい機会になりました。（マレーシア）
- PDAWC のステージにカンボジア代表として参加でき、光栄です。まだ経験の浅い私たちにとってこの交流会の環境はとても親しみやすく、素晴らしい経験になりました。（カンボジア）本当に楽しかったし、ディベートについてもっと学ぶことができました。（カンボジア）
- いいトーナメントでした。（トルコ）

- 私はディベートについて多くのことを楽しむことができました。皆さんのおもてなしにみんなに感謝します！ （ドイツ）
- 最初は、これを大きな大会だとは思っていませんでしたし、激しい大会になるとは信じていませんでした。しかし、最初のディベートの後、私はこれがどれほどすごいのかを知り、緊張しましたが、2 日目までにはそれに慣れることができ、チームメイトを少しでも助けることができたと思います。（US）
- 新しい人との交流が楽しかった！（ルーマニア）
- それは信じられないほどの経験であり、世界についてのディベートスキルと知識を向上させることができました。（南アフリカ）

（教員）
- 来年もまた参加したいです。（日本）
- 来年も PDAWC に参加したいと思います。来年を楽しみにしています。（日本）
- とてもいい大会でした。（日本）
- 生徒たちと再びここに来ることは、2 年間の私の最大の夢の 1 つです。私の夢を実現させてくれてありがとうございます。（日本）
- 歴代最高でした。（日本）
- この大会には本当に感銘を受けました。（フィリピン）
- 楽しかったです。 （カンボジア）
- いい大会でしたが、もっとラウンドがあればもっと良かったと思いました。（カンボジア）
- すばらしい大会でした。（マレーシア）